

## 地域文化財総合活用推進事業 実施計画

1 都道府県・市区町村名	岐阜県安八郡神戸町	2 補助事業の種類	地域文化遺産活性化	
3 実施計画の名称	神戸町文化遺産活用推進事業	【計画の改善時期】 平成 年度		
4 実施計画期間	平成 31 年度 ～ 平成 33 年度			
5 実施計画の概要				
<p>平安時代成立の延暦寺領平野荘鎮守社の祭りに起源をもつ神戸山王まつりは、七基の神輿が多数の松明の明かりの中で疾走する勇壮な祭りで、神戸町民の心のよりどころとなっている。しかし、神輿の担ぎ手は走りながら交代するなど、高度な技術を必要とすることもあって、他所からの転入者を取り込むことも進まず、氏子の高齢化も進んで、多くの課題を抱えている。</p> <p>そこで、従来型の地域別、見習い方法による継承方法を見直し、祭りの魅力を伝え、技術的内容を説明するための解説映像、解説冊子を作成し、講演会やワークショップを開催して参加者を増やし、質の向上を図る。あわせて、学識経験者による総合的な映像記録（神輿の細部まで撮影）などを作成して、基礎資料を後世に残す。これらは神戸町第5次総合計画の主要施策に掲げる「文化遺産の保護・継承」とも合致する。</p>				
6 実施体制				
<p>本実施事業に係る全体の企画・調整や、各補助事業に係る指導等は以下の担当課が行う。</p> <p>教育委員会教育部生涯学習課：各補助事業における文化財の取扱等に関する指導・調整等</p> <p>また、補助事業は次の団体が実施する。補助事業に係る書類及び成果物等は、実行委員会事務局が管理することとし、実施期間終了後は、神戸町に継承する。</p> <p>神戸町文化遺産活用推進事業実行委員会 構成（文化財保護関係者・文化振興関係者・学識者）</p> <p>各年度の事業終了後は、外部有識者、教育委員会教育部生涯学習課及び神戸町文化遺産活用推進事業実行委員会等で構成される成果評価委員会において、事業の実施報告及び成果の評価を行う。また、評価結果については、検証・分析し、その成果を今後の神戸町の施策に活かす。</p>				
7 実施計画における目標と期待される効果			別紙①のとおり	
8 補助事業の概要	(1) 補助金額	～平成30年度交付決定額：	0 千円	平成31年度申請額： 5,782 千円
	(2) 実施事業の概要	別紙②のとおり		
9 その他計画実施により想定される効果（定性的な効果を記載）				
<p>本事業の実施によって担い手の技術が向上し、あわせて新たな参加呼びかけの講習会等を行うことで、担い手不足・後継者不足の解消が期待できる。また、これまで、経験や伝承を通じて継承されてきた文化遺産を、映像記録（神輿の細部まで撮影）などの学術的記録を作成して残し、後世への継承を確実なものとする。その上で、祭り行事を核としながら、神社の建築と境内地、その中に存在する室町時代後期の三重塔(国重文)、もとの神宮寺であった善学院、広くは平野荘荘域全体を一帯的な文化財として理解できる町民が増えることが期待できる。</p>				
10 その他事業（自主財源、民間団体、他省庁等からの補助（支援）を予定している事業など）				
事業概要：	なし			
事業概要：	なし			
事業概要：	なし			
11 「文化財保存活用地域計画」の作成・認定や「文化財保存活用大綱」の策定、「歴史文化基本構想」の策定や「歴史的風致維持向上計画」の作成・認定に向けた計画の見込等				
<p>「歴史文化基本構想」の策定や「歴史的風致維持向上計画」の作成・認定に向けた計画については、検討中である。将来的には、「神戸山王まつり」を核としながら、神社の建築物（本殿：国重文）と境内地、その中に存在する三重塔（国重文）、収蔵庫の中の十一面観世音菩薩像（2体）・地藏菩薩像・狛犬（いずれも国重文）、もとの神宮寺であった善学院、広くは平野荘荘域全体を一体的な文化財として理解し、文化生活に役立てていけるようにしたい。</p>				
12 担当部局				
地方公共団体 担当部局課	神戸町教育委員会教育部生涯学習課（社会教育係）			

## 7 実施計画における目標と期待される効果 別紙

目標区分1:	伝統文化の継承体制の維持・確立					
評価指標区分1:	その他 (具体的な指標は次のとおり)					
具体的な指標1:	記録映像 (DVD) の貸し出し (閲覧上映)	関連事業:		①②		
目標値1:	【現状値】 平成 30 年度 0 回 ⇒ 【目標値】 平成 33 年度 15 回					
設定根拠1:	団体・個人への貸し出し10回、参加者講習会での上映5回					
進捗状況1:	各年度, 状況値, 目標に対する達成率					
平成 年度	平成 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度	
回	回	回	回	回	回	回
目標区分2:	地域の文化資源を活用した集客・交流					
評価指標区分2:	地域の祭礼行事等への入込客数 (具体的な指標は次のとおり)					
具体的な指標2:	神戸山王まつり参加者数	関連事業:		①②		
目標値2:	【現状値】 平成 30 年度 1,000 (単位) ⇒ 【目標値】 平成 33 年度 1,100 (単位)					
設定根拠2:	人口は減少しているが、毎年数%の増加を目標とする。					
進捗状況2:	各年度, 状況値, 目標に対する達成率					
平成 年度	平成 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度	
(単位)	(単位)	(単位)	(単位)	(単位)	(単位)	(単位)
目標区分3:	地域の文化資源を活用した集客・交流					
評価指標区分3:	地域の祭礼行事等への入込客数 (具体的な指標は次のとおり)					
具体的な指標3:	神戸山王まつりへの入込客数	関連事業:		①②		
目標値3:	【現状値】 平成 30 年度 20,000 人 ⇒ 【目標値】 平成 33 年度 21,500 人					
設定根拠3:	岐阜県観光入込客数統計調査の近年の横ばいの状況から、毎年500人程度の増加を見込む。					
進捗状況3:	各年度, 状況値, 目標に対する達成率					
平成 年度	平成 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度	
人	人	人	人	人	人	人

